

## 4 男女共同参画ふくしまプランの推進

### (1) 計画の進行管理

男女共同参画ふくしまプランの具体的な推進に際しては、福島市男女共同参画推進条例第9条3項の規定に基づき、毎年この単年度報告を作成し、進捗状況の把握と適切な進行管理に努めてまいります。

また、進行管理にあたっては、PDCAサイクルに基づき行うこととし、個別事業の進捗状況と計画全体の評価の両面から点検・評価を行い、その結果を公表していきます。

なお、単年度報告のPDCAサイクル各部は、以下のとおりです。

#### ① 意識改革をめざす啓発活動の推進 (施策)

##### ア 情報紙の発行 (事業名)

- 男女共同参画について理解を深めてもらうため、男女の市民参画による情報紙を発行する。

(事業の内容)

イベント名	男女共同参画情報紙「さんかくBook」第3号の発行				
対象	市政だより折込による全戸配布				
参加人員	—				
実施時期	3月				
実施場所	—				
実施結果・効果	福島市男女共同参画トップセミナーとして、政近準子さんに「【魅せるチカラ】結果にコミットする装いの力とは。」をテーマに講演いただいた内容を掲載したほか、ウイメンズイノベーションカレッジインふくしまの受講者を取材した内容を掲載した。 107,600部作成。全戸配布を行ったほか、市の関係各施設に配置するなどし、市民の男女共同参画意識の醸成を図った。				
評価	<b>A</b>				
A評価に向けた課題と今後の取組 (本年度計画)	令和元年度は、8人の市民編集員に参画いただき、編集会議を重ねながら、一層内容の充実を図るとともに、より効果的な啓発に努める。 令和元年度作成予定部数：107,400部				
年次計画 (評価)	H28 (A)	H29 (A)	H30 (A)	R1	R2

↑  
**P**  
(H28～H32 (R2)の事業計画)

← **D**  
(H30事業実施報告)

← **C**  
(Dに対する評価)

← **A**  
(R1～事業実施計画)

(2)

単年度報告の見方

- ① 計画に記載がある「施策」・「事業名」・「事業の内容」を載せています。
- ② 平成30年度に実施した事業の「イベント名」・「対象」・「参加人員」・「実施時期」・「実施場所」を記載しています。該当がない項目には、「－」を記載しています。
- ③ 平成30年度に実施した事業の実施結果及び事業効果を記載しています。
- ④ 平成30年度に実施した事業の評価を「A・B・C・D・－」により行います。  
(※評価基準は6ページを参照)
- ⑤ A評価に向けた課題と、課題解決に向けた令和元年度以降の取組を記載しています。
- ⑥ 事業に関する写真・資料等を掲載しています。
- ⑦ 令和元年度の所管課を記載しています。

	① 意識改革をめざす啓発活動の推進 (施策) ア 情報紙の発行 (事業名) ○ 男女共同参画について理解を深めてもらうため、男女の市民参画による情報紙を発行する。 (事業の内容)	①	
②	イベント名 男女共同参画情報紙「さんかくBook」第3号の発行 対 象 市政だより折込による全戸配布 参 加 人 員 ー 実 施 時 期 3月 実 施 場 所 ー		⑥
③	実 施 結果・効果 福島市男女共同参画トップセミナーとして、政近準子さんに「【魅せるチカラ】結果にコミットする装いの力とは。」をテーマに講演いただいた内容を掲載したほか、ウイメンズイノベーションカレッジインふくしまの受講者を取材した内容を掲載した。 107,600部作成。全戸配布を行ったほか、市の関係各施設に配置するなどし、市民の男女共同参画意識の醸成を図った。		
④	評 価 <b>A</b>		
⑤	A評価に向けた課題と今後の取組 (本年度計画) 令和元年度は、8人の市民編集員に参画いただき、編集会議を重ねながら、一層内容の充実を図るとともに、より効果的な啓発に努める。 令和元年度作成予定部数：107,400部		
	年次計画 (評価) H28 (A) H29 (A) H30 (A) R1 R2		所管課 男女共同参画センター

(記号の種類と意味)

種類	記号の意味
→	継続して取り組む事業
●	新規に取り組む事業
○	単年度のみ取り組む事業
ー	年次計画なし
( )	評 価

### (3) 事業の評価基準

評価	評価基準		
	結果を数値化できる事業	結果の数値化が困難な事業	
	達成度で評価 (講座・研修・調査・登用等)	通年で実施する事業 (広報・啓発・相談・支援等)	短期間で実施する事業 (イベント・協議会・懇談会等)
<b>A</b>	<b>8割以上を達成</b> ※目標値が設定されている場合は達成していること	事業内容が広く対象に周知又は利用等されており、課題や改善点がほぼない状態  ( 継続実施 )	事業実施の結果、市及び対象者が有益な効果を得ることができ、課題や改善点がほぼない状態  ( 継続実施 )
<b>B</b>	<b>6割以上を達成</b>	事業内容が概ね対象に周知又は利用等されているが、課題や改善点もある状態  ( 一部変更実施 )	事業実施の結果、市及び対象者が一定の効果を得ることができた一方、課題や改善点もある状態  ( 一部変更実施 )
<b>C</b>	<b>3割以上を達成</b>	事業内容が一部の対象にのみ周知又は利用等されており、なお一層の改善を要する状態  ( 一部変更実施 )	事業実施の結果、市及び対象者が一部の効果を得るに留まり、なお一層の改善を要する状態  ( 一部変更実施 )
<b>D</b>	<b>3割未満の達成</b>	廃止を含め、事業の大幅な見直しを要する状態  ( 変更・廃止検討 )	廃止を含め、事業の大幅な見直しを要する状態  ( 変更・廃止検討 )
<b>—</b> (未実施)	事業を実施しなかった(できなかった)場合に使用  【実施結果・効果】 事業を実施しなかった(できなかった)理由を記載  【A評価に向けた課題と今後の取組(本年度計画)】 本年度に実施予定がある場合は記載		
勘案する項目 (複数項目で判断)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に対する現在値</li> <li>・前年度対比、伸び率</li> <li>・調査結果、調査回収率</li> <li>・登用率、参画割合</li> <li>・定員に対する参加者数、応募者数、修了者数</li> <li>・アンケート結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だよりへの掲載、折込</li> <li>・地区だよりへの掲載</li> <li>・市ホームページへの掲載</li> <li>・需要と供給のバランス</li> <li>・事業の予算化の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者(参加者)数</li> <li>・開催回数</li> <li>・意見の聴取と事業化</li> </ul>